

令和5年度（2023年度）

第45回 オホーツク地区サッカー協会

総 会 議 案



【議 題】

1. 出席確認
2. 開会宣言
3. 会長挨拶
4. 議事

第1号議案 令和4年度事業報告に関する件

第1種委員会/第2種委員会/第3種委員会/第4種委員会/女子委員会
技術委員会/審判委員会/キッズ委員会/フットサル委員会/情報委員会
シニア委員会

各地域協会（北見、網走、紋別、遠軽、斜里、美幌）

第2号議案 令和4年度会計報告及び会計監査報告に関する件

第3号議案 令和5年度事業計画に関する件

第1種委員会/第2種委員会/第3種委員会/第4種委員会/女子委員会
技術委員会/審判委員会/キッズ委員会/フットサル委員会/情報委員会
シニア委員会/各地域協会（北見、網走、紋別、遠軽、斜里、美幌）

第4号議案 令和5年度会計予算案に関する件

5. その他

6. 閉会宣言



【INDEX】

令和4年度事業報告

加盟登録チーム
事務局
第1種委員会
第2種委員会
第3種委員会
第4種委員会
女子委員会
技術委員会
審判委員会
キッズ委員会
フットサル委員会
情報委員会
シニア委員会
各地域協会

令和5年度事業計画

第1種委員会
第2種委員会
第3種委員会
第4種委員会
女子委員会
技術委員会
審判委員会
キッズ委員会
フットサル委員会
情報委員会
シニア委員会
各地域協会

令和5年度会計予算

規約・規定
組織図

令和4年度会計決算
会計監査報告

令和4年度 加盟登録チーム

FC網走	北見Socorro	Revival S・C	F・C・Mirra
網走市役所F. C	FCコパン	Diverti	F・C フリークス
サロマFC	遠軽社会人FC	FC BEENE	FC. BIHORO
東京農業大学サッカー部	AS スパーク		
1種 計 14チーム			
北見LEGEND	FC. IDEAL CUARENTA	FC イーグルス. GF	Revival. SC
オホーツクシニアサッカークラブ40		オホーツクシニアサッカークラブ50	
遊蹴会			シニア種 計 7チーム
北見北斗高等学校	北見柏陽高等学校	北見緑陵高等学校	北見商業高等学校
北見工業高等学校	網走南ヶ丘高等学校	網走桂陽高等学校	遠軽高等学校
紋別高等学校	津別高等学校	美幌高等学校	佐呂間高等学校
2種 計 12チーム			
北見市立小泉中学校	北見市立北中学校	北見市立南中学校	北見市立常呂中学校
北見市立東陵中学校	北見市立光西中学校	北見市立東相内中学校	網走市立第三中学校
紋別市立紋別中学校	紋別市立潮見中学校	美幌町立美幌中学校	美幌町立北中学校
遠軽町立遠軽中学校	遠軽町立南中学校	小清水町立小清水中学校	津別町立津別中学校
佐呂間町立佐呂間中学校	訓子府町立訓子府中学校	斜里町立斜里中学校	湧別町立上湧別中学校
興部町立興部中学校	FC網走U-15	JSPORTS ESPERANZA SC	
3種 計 23チーム			
アトラス北見中央サッカースポーツ少年団		北見オニオンキッドサッカースポーツ少年団	
北見西サッカースポーツ少年団		北見イーグルスサッカースポーツ少年団	
北見リトルウィングスSFTサッカー少年団		常呂ジュニアフットボールクラブ	
FC網走U-12		FC網走meninaU-12	
網走市サッカースポーツ少年団		遠軽はやぶさサッカースポーツ少年団	
紋別F・Cジュニア		紋別ドルフィンズサッカースポーツ少年団	
美幌UFOサッカースポーツ少年団		銀河ジュニアF. C 2002	
つべつサッカー少年団		斜里サッカースポーツ少年団	
FCMiragross Jr		FC ベーネ U-12	
たきのうえサッカースポーツ少年団		サロマFCジュニア	
FCルゴーサ興部		JSPORTS ESPERANZA SC	
4種 計 22チーム			
レファFC	FC網走menina	il sole FC	
女子 計 3チーム			
合計 81チーム			

令和4年度事業報告 事務局

1. 地区協会

	地区協会総会			書面会議
10月 1日	常任理事会	市民会館	4号会議室	17名出席
2月25日	常任理事会	市民会館	4号会議室	19名出席
3月18日	各委員会監査	北見市民スケートリンク会議室		
3月18日	常任理事会	サントライ北見	研修室	名出席

2. 道東4地区協会該当

・道東ブロック

11月 6日	事務局会議	阿寒湖まりむ館(釧路市)	國田副会長、中田理事長、 美村事務局長
1月10日	ジョイントミーティング会議	WEB会議(サントライ北見)	榊原会長、蝦名副会長、國田副会長、橋本副会長、 斉藤副会長、中田理事長、美村事務局長

3. 北海道協会該当

①2022年度役員候補推薦委員会

4月22日	榊原会長	出席
-------	------	----

②2022年度役員候補推薦委員会

5月 6日	榊原会長	出席
-------	------	----

③2022年度HKFA評議委員会

6月25日	WEB会議	榊原会長	出席
-------	-------	------	----

④2022年度北海道サッカー協会理事会

中田理事長 出席

第1回	4月 5日	WEB会議
第2回	5月21日	WEB会議、
第3回	6月25日	WEB会議
第4回	7月12日	WEB会議
第5回	10月 7日	WEB会議
第6回	3月11日	WEB会議

4. 道東ブロック大会主管事業

3種	道東4地区カブス交流大会	(北見市 10/8~9)
----	--------------	--------------

2022年度 第1種委員会 事業報告

オホーツク地区サッカー協会 第1種委員会

1. サッカーリーグ

(1) 令和4年度 第41回 北海道学生サッカーリーグ

日 程	2022年5月 ～ 10月
会 場	網走呼人スポーツトレーニングフィールド 他
参 加	東京農大
結 果	3部リーグ 8位

(2) 2022年度 第45回 北海道サッカーリーグ 第20回道東ブロックリーグ

日 程	2022年5月 ～ 9月
会 場	網走スポーツトレーニングフィールド 他
参 加	FC.網走
結 果	6勝1分3敗 2位 【2023年度残留確定】

(3) 2022年度 オホーツク地区社会人サッカーリーグ

日 程	2022年5月 ～ 10月
会 場	北見モイワスポーツワールド ・ 網走呼人スポーツトレーニングフィールド
参 加	管内12チーム
結 果	1部優勝：FCコパン / 2部優勝：Diverti

2. サッカー大会

(1) 2022年度 第29回 全国クラブチーム選手権大会 道東ブロック予選大会

日 程	2022年7月3日(日)
会 場	十勝川河川敷サッカー場
参 加	FCコパン
結 果	優勝 【地区代表FC網走・ブロック代表FCコパンの両チーム共に全道大会1回戦敗退】

(2) 2022年度 第58回 全道社会人サッカー選手権大会 オホーツク地区予選大会

日 程	2022年7月10日(日)
会 場	北見モイワスポーツワールド
参 加	FCコパン
結 果	参加が1チームの為、地区推薦としたが新型コロナウイルスの影響にて全道大会辞退

(3) 2022年度 北海道サッカーリーグ 道東ブロックリーグ ブロック入替戦

日 程	2022年10月17日(日)
会 場	網走スポーツトレーニングフィールド
参 加	FCコパン
結 果	引き分けにて地区残留

(4) 2022年度 第4回 オホーツク地区社会人サッカーエンジョイ大会

日 程	2022年10月9日(日)
会 場	北見モイワスポーツワールド
参 加	管内未登録 8チーム
結 果	Aブロック優勝：GRAND SLAM Bブロック優勝：FC POTA

2022 年度オホーツク地区サッカー協会第 2 種委員会 事業報告

【1. 地 区 大 会】

(1) 2022 年度高体連シード決定戦、春季フェスティバル

日 程：5 月 1 日（日）、3 日（火）～4 日（水）

会 場：遠軽町、北見市

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 紋別高校 3 位 北見北斗高校 4 位 遠軽高校
オホーツク管外参加校：1 校（中標津）

(2) 2022 オホーツク地区 FA リーグ

日 程：7 月 16 日（土）～10 月 16 日（日）

会 場：北見市・網走市・紋別市・遠軽町・美幌町他

結 果：1 位 北見柏陽高校 2 位 北見北斗高校 3 位 遠軽高校 4 位 北見工業高校

(3) 令和 4 年度第 75 回高体連オホーツク支部サッカー選手権大会

兼第 75 回全道高等学校高校サッカー選手権大会オホーツク支部予選会

日 程：5 月 25 日（水）～28 日（土）

会 場：網走スポーツ・トレーニングフィールド

当番校：網走南ヶ丘高等学校

結 果：1 位 北見北斗高校 2 位 網走南ヶ丘高校 3 位 紋別高校 3 位 遠軽高校

(4) 2022 年度第 101 回全国高校サッカー選手権大会オホーツク地区予選大会

日 程：8 月 27 日（土）～28 日（日）、9 月 3 日（土）～4 日（日） 予備日 9 月 10 日（土）

会 場：えんがる球技場、えんがる湧別川多目的広場

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 北見北斗高校 3 位 紋別高校 3 位 遠軽高校

(5) 令和 4 年度第 52 回高体連オホーツク支部新人サッカー選手権大会

兼北海道高校ユースサッカー新人大会オホーツク支部予選会

日 程：9 月 27 日（火）～29 日（木）

会 場：えんがる球技場

当番校：高体連オホーツク地区専門部

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 遠軽高校 3 位 北見北斗高校 3 位 北見柏陽高校

(6) 第34回全道U-18フットサル選手権大会

兼JFA第10回全日本U-18フットサル選手権大会オホーツク地区予選大会

日 程：12月10日（土）

会 場：遠軽町総合体育館

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 北見柏陽高校 3 位 網走桂陽高校 3 位 北見緑陵高校

【2. 地区フェスティバル】

(1) オホーツクサッカーフェスティバル 2022

日 程：8 月 7 日（日）～10 日（水）

会 場：北見市

オホーツク管外参加校：計 11 校（札幌英藍、札幌国際、北広島西、旭川永嶺、帯広工業、
釧路湖陵、釧路江南、釧路明輝、武修館、中標津、別海）

【3. 道 東 大 会】

- (1) 高円宮杯 JFA U-18 サッカー2022 ブロックリーグ道東1部

日 程：4月16日（土）～9月19日（月・祝）

参加校：帯広北、釧路北陽、帯広緑陽、帯広大谷、帯広柏葉、白樺学園、帯広三条、網走南ヶ丘
（計8校による HOME&AWAY の2回戦制）

結 果：網走南ヶ丘高校 2位

- (2) 2022年度第11回東北海道高校ユースサッカー新人大会

コロナにより中止

【4. 全 道 大 会】

- (1) 令和4年度第75回北海道高等学校サッカー選手権大会

兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選

日 程：6月14日（火）～17日（金）

会 場：網走スポーツ・トレーニングフィールド

結 果：1回戦 北見北斗高校 2－4 とわの森高校
網走南ヶ丘高校 1－2 札幌光星高校

- (2) 2022年度第101回全国高校サッカー選手権大会北海道大会

日 程：10月15日（土）～17日（月）／ 22日（土）～23日（日）

会 場：旭川／札幌

結 果：1回戦 網走南ヶ丘高校 1－1（PK 5－3） 旭川北高校
2回戦 網走南ヶ丘高校 0－3 駒大苫小牧高校

- (3) 2022年度第34回全道 U-17 フットサル選手権大会

兼 JFA 第10回全日本 U-18 フットサル選手権大会北海道代表決定戦

日 程：2月11日（土）～12日（日）

会 場：苫小牧市総合体育館

結 果：網走南ヶ丘高校 1次ラウンド敗退
北見柏陽高校 1次ラウンド敗退

2022 年度オホーツク地区サッカー協会第 2 種委員会 事業報告

【1. 地 区 大 会】

(1) 2022 年度高体連シード決定戦、春季フェスティバル

日 程：5 月 1 日（日）、3 日（火）～4 日（水）

会 場：遠軽町、北見市

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 紋別高校 3 位 北見北斗高校 4 位 遠軽高校
オホーツク管外参加校：1 校（中標津）

(2) 2022 オホーツク地区 FA リーグ

日 程：7 月 16 日（土）～10 月 16 日（日）

会 場：北見市・網走市・紋別市・遠軽町・美幌町他

結 果：1 位 北見柏陽高校 2 位 北見北斗高校 3 位 遠軽高校 4 位 北見工業高校

(3) 令和 4 年度第 75 回高体連オホーツク支部サッカー選手権大会

兼第 75 回全道高等学校高校サッカー選手権大会オホーツク支部予選会

日 程：5 月 25 日（水）～28 日（土）

会 場：網走スポーツ・トレーニングフィールド

当番校：網走南ヶ丘高等学校

結 果：1 位 北見北斗高校 2 位 網走南ヶ丘高校 3 位 紋別高校 3 位 遠軽高校

(4) 2022 年度第 101 回全国高校サッカー選手権大会オホーツク地区予選大会

日 程：8 月 27 日（土）～28 日（日）、9 月 3 日（土）～4 日（日） 予備日 9 月 10 日（土）

会 場：えんがる球技場、えんがる湧別川多目的広場

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 北見北斗高校 3 位 紋別高校 3 位 遠軽高校

(5) 令和 4 年度第 52 回高体連オホーツク支部新人サッカー選手権大会

兼北海道高校ユースサッカー新人大会オホーツク支部予選会

日 程：9 月 27 日（火）～29 日（木）

会 場：えんがる球技場

当番校：高体連オホーツク地区専門部

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 遠軽高校 3 位 北見北斗高校 3 位 北見柏陽高校

(6) 第34回全道U-18フットサル選手権大会

兼JFA第10回全日本U-18フットサル選手権大会オホーツク地区予選大会

日 程：12月10日（土）

会 場：遠軽町総合体育館

結 果：1 位 網走南ヶ丘高校 2 位 北見柏陽高校 3 位 網走桂陽高校 3 位 北見緑陵高校

【2. 地区フェスティバル】

(1) オホーツクサッカーフェスティバル 2022

日 程：8 月 7 日（日）～10 日（水）

会 場：北見市

オホーツク管外参加校：計 11 校（札幌英藍、札幌国際、北広島西、旭川永嶺、帯広工業、釧路湖陵、釧路江南、釧路明輝、武修館、中標津、別海）

【3. 道 東 大 会】

- (1) 高円宮杯 JFA U-18 サッカー2022 ブロックリーグ道東1部

日 程：4月16日（土）～9月19日（月・祝）

参加校：帯広北、釧路北陽、帯広緑陽、帯広大谷、帯広柏葉、白樺学園、帯広三条、網走南ヶ丘
（計8校による HOME&AWAY の2回戦制）

結 果：網走南ヶ丘高校 2位

- (2) 2022年度第11回東北海道高校ユースサッカー新人大会

コロナにより中止

【4. 全 道 大 会】

- (1) 令和4年度第75回北海道高等学校サッカー選手権大会

兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選

日 程：6月14日（火）～17日（金）

会 場：網走スポーツ・トレーニングフィールド

結 果：1回戦 北見北斗高校 2－4 とわの森高校
網走南ヶ丘高校 1－2 札幌光星高校

- (2) 2022年度第101回全国高校サッカー選手権大会北海道大会

日 程：10月15日（土）～17日（月）／22日（土）～23日（日）

会 場：旭川／札幌

結 果：1回戦 網走南ヶ丘高校 1－1（PK 5－3）旭川北高校
2回戦 網走南ヶ丘高校 0－3 駒大苫小牧高校

- (3) 2022年度第34回全道 U-17 フットサル選手権大会

兼 JFA 第10回全日本 U-18 フットサル選手権大会北海道代表決定戦

日 程：2月11日（土）～12日（日）

会 場：苫小牧市総合体育館

結 果：網走南ヶ丘高校 1次ラウンド敗退
北見柏陽高校 1次ラウンド敗退

令和4年度 オホーツク地区サッカー協会第3種委員会 事業報告

【地区大会結果】

※網掛けは代表チーム

期 日	事 業	会 場	成 績			
			第1位	第2位	第3位	第4位
5月～9月	U15北見エリアリーグ	北見エリア各地	北見北中	光西中	東相内・置戸合同	東陵・北光合同
	U15斜網エリアリーグ	斜網エリア各地	小清水・清里・津別合同	美幌中	美幌北中	FC網走U15 2nd
	U15遠紋エリアリーグ	遠紋エリア各地	遠軽中	興部・滝上中	紋別潮見中	遠軽南・上湧別合同
	U15地区カプスリーグプレーオフ	モイワスポーツ	遠軽中	北見北中	光西中	小清水・清里・津別合同
6月25日・26日 7月2日	オホーツク地区中体連	網走呼人 えんがる球技場	遠軽中	東陵・北光合同	(第3位) 光西中・小泉中	
11月5日・6日	U15フットサル地区大会	紋別市スポーツセンター	1位：FC網走U15 2位：遠軽中 3位：興部中 4位：小清水・清里・津別 5位：小泉中			
1月28日・29日	U14フットサル地区大会	遠軽町総合体育館	FC網走U15A	北見南中	FC網走U15B	紋別潮見中

【道東大会結果】

期日	事業名	会 場	出場チーム	成績
5月3日～10月8日	道東ブロックカプスリーグ	道東各地	小泉中	8位/8チーム ※地区カプスリーグへ降格

期日	事業名	会 場	成 績	
10月8日・9日	4地区カプス交流大会	北見モイワ	北見北中	【予選リーグ】2位/3チーム・【2位リーグ】1位/3チーム 【最終結果】4位/9チーム
			光西中	【予選リーグ】3位/3チーム・【3位リーグ】2位/3チーム 【最終結果】8位/9チーム
			小清水・清里・津別合同	【予選リーグ】3位/3チーム・【3位リーグ】3位/3チーム 【最終結果】9位/9チーム

期日	事業名	会 場	出場チーム	成績
10月22日・23日	2022年度道東カプス参入戦	音更町	北見北中	3位/6チーム (※昇格は2位以上)

期日	事業名	会 場	出場チーム	成績
11月12日・13日	U15道東ブロックフットサル大会	新得町体育館	FC網走U15	【1次ラウンド】3位/4チーム
			遠軽中	【1次ラウンド】1位/4チーム・【決勝ラウンド】2位/4チーム 【最終】3位
			興部中	※コロナウィルス関連により出場辞退
			小清水・清里・津別	【1次ラウンド】3位/4チーム
			小泉中	※コロナウィルス関連により出場辞退

【全道大会結果】

期日	事業名	会 場	出場チーム	成績
4月17日～10月23日	高円宮杯JFAU-15 北海道カプスリーグ2部	全道各地	FC網走U15	10位/12チーム ※道東ブロックカプスへ降格
7月30日～8月1日	北海道中学校サッカー大会 (中体連全道大会)	留萌市	遠軽中	遠軽中 1-0 留萌中 遠軽中 4-0 千歳勇舞中 (準々決勝) 遠軽中 0-3 室蘭桜蘭中
7月3日～8月8日	北海道クラブユース選手権U15	サングリンスポーツヴィレッジ (夕張平和運動公園)	FC網走U15	FC網走 2-3 Regaris小樽U-15
10月8日～10月10日	地区カプス決勝大会	苫小牧市	遠軽中	※コロナウィルス関連により出場辞退
12月10日・11日	U15フットサル北海道大会	札幌市	遠軽中	【1次ラウンド】1位/4チーム 【決勝ラウンド】1回戦敗退
2月25日・26日	全道フットサル選手権U14	倶知安町	FC網走U15 A	【1次ラウンド】1勝1敗
			北見南中	【1次ラウンド】1勝1敗

【3種指導者研修会】

期日	事業名	会 場	参加者	内容
4月23日	OKFA 3種指導者研修会	北見北中グラウンド	18名	・守備、攻撃の個人戦術指導について(実技)

2022年度 オホーツク地区サッカー協会 第4種委員会 事業報告

〈大会事業〉

1. U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2022

日程:第1ステージ 2022年5月 8日～5月29日

第2ステージ 上記終了後～7月10日

第3ステージ 上記終了後～8月28日

最終結果 1位 FCペーネU-12A

2位 美幌UFOサッカースポーツ少年団A

3位 網走市サッカースポーツ少年団

※道東B大会結果:FCペーネU-12A～幕別札内に2-2(PK1-2)で1回戦敗退

:美幌UFO ～A芽室サッカー少年団に1-2で1回戦敗退

:網走市 ～SC釧路に3-2で1回戦勝利

:網走市 ～プログレッソに3-11で2回戦敗退

2. U-10サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2022

日程:第1ステージ 2022年5月 8日～5月29日

第2ステージ 上記終了後～7月10日

第3ステージ 上記終了後～8月28日

3. フジパングループPresentsロバパンCUP第53回全道(U-12)サッカー少年団大会 オホーツク地区予選大会

日程:7月2日(土)～7月3日(日)

会場:北見モイワスポーツワールド

順位 1位 美幌UFO A (地区代表)

2位 紋別ドルフィンズ (地区代表)

3位 北見オニオンキッド (地区代表)

※全道大会結果:美幌UFO A～札幌地区SSS札幌サッカースクールに0-9で1回戦敗退

:紋別ドルフィンズ～十勝地区芽室サッカー少年団に0-4で1回戦敗退

:北見オニオンキッド～旭川地区VITA FCに0-3で1回戦敗退

4. 第17回オホーツクニ建会旗 兼 第18回全道少年団U-10サッカー大会北北海道大会 オホーツク地区予選大会

日程:6月18日(土)～6月19日(日)

会場:津別町総合運動公園サッカー場

順位 1位 遠軽はやぶさ (地区代表)

2位 FCペーネ U12 (地区代表)

3位 美幌UFO

※全道大会結果:遠軽はやぶさ～十勝地区しんとくサッカースポーツ少年団に2-0で1回戦敗退

:FCペーネ～道北地区名寄ピヤシリサッカースポーツ少年団に1-0で1回戦敗退

5. トラック協会杯

第33回全道少年団(U-11)サッカー大会 オホーツク地区予選大会

日程:8月13日(土)～8月14日(日)

会場:えんがる球技場

順位 1位 FCペーネ U12 (地区代表)

2位 北見西

3位 美幌UFO

※全道大会結果:苫小牧地区代表AreareaFCに0-4で1回戦敗退

6. 2023年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会 兼
第20回JA全農杯小学生選抜サッカーIN北海道 オホーツク地区予選大会
日程:10月1日(土)~10月2日(日)
会場:えんがる球技場
順位 1位 遠軽はやぶさ(地区代表)
 2位 FCペーネU-12
 3位 美幌UFO
 3位 北見西
7. 第6回オホーツクU-12サッカーフェスティバル
日程:10月8日(土)~10月9日(日)
会場:えんがる球技場
順位 1位 トーナメント 北見オニオンキッド
 2位 トーナメント 紋別ドルフィンズ
 3位 トーナメント 銀河ジュニア
8. 2022全道フットサル選手権(U-12)オホーツク地区予選大会
日程:12月10日(土)~12月11日(日)
会場:紋別市スポーツセンター・滝上町スポーツセンター
順位 1位 FCペーネ U12(地区代表)
 2位 網走市サッカースポーツ少年団
 3位 紋別FCジュニア
 3位 FC網走U-12
※3月11日~12日北ガスアリーナ札幌46にて開催
●FCペーネ 2-5 TFCジュントス○
○FCペーネ 5-0 くりやまフットボールクラブ
Dブロック1勝1敗で1次ラウンド敗退
9. 第33回全日本U-12フットサル選手権大会
北海道代表決定戦 道東ブロック予選 オホーツク地区予選大会
日程:2023年1月28日(土)~1月29日(日)
会場:網走市総合体育館・小清水町農業者トレーニングセンター
順位 1位 FCペーネ U12 (地区代表)
 2位 遠軽はやぶさサッカースポーツ少年団(地区代表)
 3位 網走市サッカースポーツ少年団 (地区代表)
 3位 つべつサッカー少年団 (地区代表)
10. 第5回オホーツクU-12フットサルフェスティバル
日程:2023年2月25日(土)~2月26日(日)
会場:留辺蘂町体育館・津別町農業者トレーニングセンター・北見市立西小学校
順位 F1トーナメント 1位 北見オニオンキッドサッカースポーツ少年団
 F2トーナメント 1位 FC網走U-12
 F3トーナメント 1位 遠軽はやぶさサッカースポーツ少年団

〈普及事業〉

今年度開催なし

2022 年度 オホーツク地区サッカー協会 女子委員会事業報告

1. 普及事業計画

7 月 10 日(日)	JFA レディースサッカーフェスティバル	北見モイワスポーツワールド
11 月 23 日 (金祝)	第 6 回 OKFA レディースフットサルフェスティバル	道立北見体育センター
	一般の部 FC 網走 menina. レファ FC 合同・釧路リベラルティ A 釧路リベラルティ B・十勝リトルガールズホワイト・ 十勝リトルガールズブルー	
	フレンドリーの部 il sole FC・il sole FCY ・レファ FC	

OKFA 16→25 プラン 女子選手倍増計画

- オホーツクエリアガールズサッカースクール 小学校 3 年生～4 年生対象
不定期開催

低学年から女子選手でトレーニングを行い女子選手の普及を行う。

10 月 16 日・12 月 18 日・2023 年 1 月 15 日・2 月 19 日・3 月 12 日

- OKFA 女子フットサルフェスティバル (11 月 23 日)

一般・ノービスの部にて開催

女子選手の試合経験の確保と普及を目的とするフェスティバルの開催

2 全道大会

4 月 9 日(土) ～10 日(日)	第 3 回 U-13 (中学生) 8 人制ブロック交流大会	札幌
	結果: オホーツク地区・不参加	
8 月 20 日(土) ～21 日(日)	新カップ第 1 回北海道女子 8 人制サッカー大会 (新規大会)	札幌
	結果: オホーツク地区・不参加	
9 月 23 日(金祝) ～25 日(日)	第 25 回北海道女子ユース (U-18) サッカー選手権大会 兼 JOC ジュニアオリンピックカップ	苫小牧
	第 26 回全日本女子ユース (U-18) サッカー選手権大会北海道予選	
	結果: オホーツク地区・不参加	
9 月 17 日(土)～ ～19 日(月祝)	第 30 回北海道 U-15 女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第 27 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会北海道大会	空知
	結果: 道東ブロック予選敗退の為 不参加	
11 月 27 日(土) ～28 日(日)	第 14 回全道女子ユース (U-15) フットサル大会兼 第 13 回全日本女子ユース (U-15) フットサル大会北海道予選	釧路
	結果: FC 網走 menina. レファ FC 合同 VS 室蘭アイスパース U-15 1 - 6 FC 網走 menina. レファ FC 合同 VS FC AMIRISA 2 - 2 予選敗退 (勝敗・勝率・対戦成績同率により抽選)	

2023 年 2 月 11 日(土) ～12 日(日)	全道フットサル選手権大会 2023 女子の部	十勝
	結果: オホーツク地区・不参加	

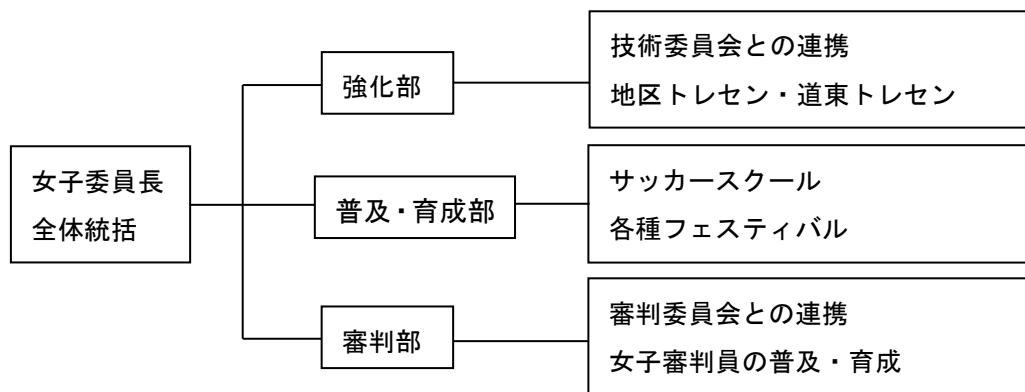
3 道東ブロック予選

7月30日(土) ～31日(日)	第30回北海道U-15女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第27回全日本U-15女子サッカー選手権大会北海道大会 道東ブロック予選	釧路
	結果：FC 網走 menina. レファ FC 合同 VS 釧路リベラルティ U-15 2 - 3 予選敗退	

4 4種女子事業報告

8月6日(土) ～7日(日)	JFA ガールズゲーム 2022 北海道第10回熊谷・高瀬杯サッカー大会	北空知 (新十津川)
	結果：【予選Cブロック 2位】 FC 網走 meninaGSS 4-0 室蘭女子トレセン U-12 FC 網走 meninaGSS 0-3 旭川女子トレセン U-12 【2位トーナメント 2位】 FC 網走 meninaGSS 3-2 小樽女子トレセン FC 網走 meninaGSS 0-8 FC ガールズ北空知	
12月17日(土) ～18日(日)	2022年度第33回全道少女フットサル大会	千歳
	結果：【予選Aグループ 1位】 FC 網走 meninaU-12 5-0 小樽女子トレセン U-12 FC 網走 meninaU-12 3-2 空知 FC ガールズ FC 網走 meninaU-12 3-1 北海道コンサドーレ札幌 U-12Girls FC 網走 meninaU-12 9-0 室蘭地区女子トレセン U-12 【準決勝 3位】 ※オホーツク管内初※ FC 網走 meninaU-12 3-5 リカシィ	

4 組織図



○オホーツク地区女子チーム (2023年3月末現在)

レファ FC	FC 網走 menina	il sole FC
--------	--------------	------------

2022年度 オホーツク地区サッカー協会 技術委員会事業報告



技術委員会			
委員長 菊池 豪			
強化部	普及・育成部	指導者養成部	GK事業部
部長 菊池 豪	部長 渡辺 翔太	部長 安田秀憲	部長 高瀬義史
【目的】 OKFA強化・育成コンセプトの下に、U10からU16までの選手を強化する。毎年の目標として「北海道を代表する選手の輩出」を掲げ、自立年代(U16～)で世界基準に達する選手が育つことを目指す。	【目的】 サッカーの楽しさをあらゆる年齢層、地域、団体に普及させてサッカーファミリーの拡大を図るとともに、選手にサッカーの基礎技術を学ばせる事業を推進する。	【目的】 日本サッカー協会の指導指針に沿って指導できる指導者を養成するとともに、オホーツク地区における指導者の指導力向上を目指す事業を推進する。	【目的】 北海道サッカー協会のGK担当と連携を図り、オホーツク地区におけるGK指導者の養成及び指導力向上とGK選手の強化を目指す事業を推進する。
【具体的事業】	【具体的事業】	【具体的事業】	【具体的事業】
1 U10～16強化部トレセン活動の実施	6 各カテゴリー育成部トレセン(エリア開催)の実施	9 リフレッシュ研修会の計画・実施	14 強化トレセンへGKスタッフの派遣
2 道外遠征の実施(U-11/14)	7 普及的指導者研修会の実施	10 JFAおよびHKFA主催リフレッシュ研修会への派遣	15 GK練習会の計画・実施
3 道東トレセンへの参加(U10～16)	8 エリアトレセンスタッフ研修会の実施	11 ナショナルトレセン伝達講習会への派遣	16 GK指導者研修会の計画・実施
4 道内遠征の実施(U10～16)		12 指導者資格取得講習会への派遣(選考含)	
5 OKFAテクニカルスタディグループによるゲーム視察		13 オホーツク地区主管公認指導者資格取得講習会の実施	
物品管理(プロジェクタ・VTR等) 菊池		副委員長 斎藤	
有資格者名簿作成・管理 菊池		会計 平子	
OKFA専門委員長会議の主管 菊池		監査 谷口	
地区HPやFacebookでの発信 各カテゴリーチーフ			

【令和4年度 重点目標】

16 →25プラン OKFAドリームプロジェクトで掲げた目標と手段の積極的推進

(1) トレセンとチームの両方で強化を図り、各カテゴリーでの道トレ選手輩出

- OKFA強化育成コンセプトをトレセンスタッフだけでなく、チーム指導者とも共有し、指導者を中心として選手の強化を図る。
- 道東および道内外遠征でマッチを数多くこなし、地区トレセンの強化を図る。
- U-10から個人戦術にはたらきかけ、ゲームの中でスキルを発揮できるように取り組む。



新型コロナウイルスによって、U11/14での道外遠征をはじめ、トレセン活動の自粛・中止を余儀なくされたが、できる範囲内で各カテゴリーにおいてトレセン活動を実施した。今年度は、JFAナショナルトレセン女子U14に岡本楼那選手(FC網走U15所属)、道トレ女子U14に歳永ゆあ選手、寺崎華子選手(共にFC網走U15所属)が選出された。日常のトレーニング環境や4種年代からの積み上げによる成果である。地区においては、そういった選手のレベルを目指し、トレーニングの充実を図ることを目指したい。

(2) 普及・育成活動から強化へつながる事業を推進する

- トレセンデーの定着とスタッフの増員を進め、U10～U16のユース年代のよりきめ細やかな指導が出来る環境を整える。
- GK事業部による普及・育成事業を進めながら、GK選手のプレーの質及びGK指導者の質を向上させる。
- エリアトレセンU11の取組の充実を図る。



今年度も、U13/14北見エリアトレセンにてB級ライセンス保持者の工藤氏が選手だけではなく、指導者に向けての指導を兼ねて実施し、成果を収めた。U14においては、エリア交流戦を実施し、選手への刺激を図った。その中から地区強化へすすんだ選手もいる。今後は、4種においても実施できるよう態勢をとりたい。選手数が年々減少している現状があるので、普及活動を充実させ、サッカーを選択する子供達を育成したい。

(3) 指導技術向上に向けての取り組み

- 10pのリフレッシュ研修会を各チーム指導者、40pをトレセンスタッフの指導技術向上の場として積極的に働きかけ、より多くの指導者の質をいっそう向上させる。
- JFATレセン認定制度に向けて、公認C級養成講習会の開催及び公認A・B級取得のトライアルへの参加を呼びかけ、各チームへ公認C級取得を働き掛ける。
- 各種年代及び女子の指導者から、北海道・道東トレセンへ参加を呼びかける。



4月28日に藤代北海道FAコーチを招いて、トレセン指導者研修会を実施し、研鑽することができた。
3年ぶりにオホーツク地区リフレッシュ研修会を実施した。40名近い参加があり、良い学びとなった。
2023年度B級ライセンス講習会遠軽コース開催が決定し、B級トライアルへ地区から13名の参加があった。
特に4種指導者の参加が多数あり、育成年代指導の充実がより進展した。

(4) ユース育成の組織的推進

- テクニカルスタディーグループ(TSG)を継続実施し、をオホーツク地区ユース年代のゲームにおける選手の現状と課題を把握し、分析結果をオホーツク地区全チームに伝達する。
- OKFAホームページやFacebookにおいて各種のトレセン活動、テクニカルレポートを公開し情報を共有する。
- 各カテゴリー委員会との情報共有を進め、人材交流をしながら育成の全体像を明らかにしていく。(カレンダー調整・予算の有効活用など)



今年度は、トレセンにおいてでた成果と課題をチーフによるトレセン通信を発行した。初年度ということもあり、上手く展開されていないこともあったが、継続していきたい。

2022年度 オホーツク地区トレセン活動報告

強化U10(松村)

1. 選手に関わって

今年度は、以前のように月1回程度のトレーニングを積むことができた。
攻撃面においては、ボールを失わないことを意識しながら、相手の状況に応じてどこを狙うか判断する部分を中心にトレーニングを積み上げた。守備面は、個の守備で基本的な正しい守備位置と粘り強く守備をする部分に重点を置いてトレーニングを行った。
課題として、攻撃面は、崩しやフィニッシュの精度である。守備面では、コーチングにより積極的なアプローチをできるようになったが、選手自らが判断しプレーすることが全員には共有されていないため、さらに高める必要がある。攻守をととして、次年度は、チームとしての組織的な攻撃や守備にフォーカスして、トレーニングに取り組む必要があると考えている。

強化U11(岡村)

1. 選手に関わって

○攻撃面

攻撃時、ハイレッシャーの中のスキルに課題がある。特に、顕著に表れるのがビルドアップで、相手に応じたスタートポジション、パス・コントロールの質へのこだわりが足りない。

○守備面

守備時の一番の課題はデュエルの弱さ。また、原則をもとに、状況に応じたポジション取りはできるようになってきた。

○2月の空知遠征前には、次のテーマを掲げた。

・デュエルの発揮！全プレーを本気で

- ・攻撃・・・ビルドアップから崩し、フィニッシュへ熱く冷静にボールを前進させる
- ・守備・・・チャレンジ&カバーの質を上げ、みんなで本気で奪う

【空知遠征の戦績】

1日目 ① VS 苫小牧 7-3 勝ち

② VS 空知 1-3 負け

③ VS 札幌 RED 0-10 負け

2日目 3位 リーグへ

① VS 道北・宗谷 5-0 勝ち

② VS 根室 4-1 勝ち

③ VS 旭川 6-2 勝ち

【成果】

- ・デュエルで負けない場面が多くあった。しかし、札幌REDの選手にはまだ及ばない。
- ・ビルドアップは1日目に課題を分析し、午後からの練習試合(地元少年団と)で改善に取り組んだ。それにより、2日目は最低人数でのチャレンジ、ポジショニングやパスコンの質が上がり、成功率が高くなった。
- ・戦う姿勢が動きや声によく表れていた。
- ・初めての宿泊遠征でオフ・ザ・ピッチの指導ができた。

【課題】

- ・Aチームはどの地区とも戦えるが、Bチームのスキルアップが必要。
- ・攻守時のオフのポジショニング。。
- ・切り替えが遅い。特に、守→攻はポジションを取る間にボールを奪われることが多い。
- ・全体的に食が細い。

○U11 北北海道トレセン キャンプ に5 名輩出することができた

FP・・・山下玲和(北見西)、餌取立気(遠軽はやぶさ)、藪 光希(斜里)、四宮陽仁(美幌 UFO)

GK・・・浅野智紀(美幌UFO)

○道外遠征はコロナの影響で未実施となった。しかし、新規事業として、8月にU11トレセン札幌交流大会に参加することができた。

強化U12(内野)

1. 選手に関わって

[選手の現状(課題)]

○攻撃面

- ・「攻撃、テクニック面では、ボールの置き場所にこだわり、ハイプレッシャーでもボールを失わない。」
- U-12全道選抜大会に参加した際に、他地区とのレベルの違いを痛感した。地区内(トレセン内)ではある程度ボールの置き場所や失わないコントロールを意識させることはできるが、全道クラスになるとそれがほとんど通用しない。もっと守備のレベルを上げていくことが必要だと感じた。
- 「観る」部分について、ボールウォッチャーになる選手がまだ見受けられ、「攻撃も守備もできるポジション」を意識することで、観て、よいポジションをとってプレーに関わる選手が増えるようにしていきたい。(守備も含めて)

○守備面

- ・「守備面では、offでしっかりと狙いを持ち、onでは厳しいプレッシャーから奪うところまで身に付けさせたい」
- Offの状態でパスカットを狙い良いポジションを取ろうとする選手は増えてきた。しかし、そこから寄せ切ってプレッシャーをかけ続け奪い切ろうとする選手はまだ少ない。この部分を上げていくことが攻撃面のレベルアップにつながるのではないかと考えている。
- しっかりボールを奪いきり、攻撃につなげようとする選手を多く育てていきたい。これらのことは、今後も重点的に向上させていきたい。

○GK

- ・全体的に基本技術はこの一年で向上してきたと感じる。連携してゴール前の守備をするなど、戦術面についても今後は向上させていきたい。

[まとめ]

- ・本年度はトレーニングが6回でほぼ月1回のトレーニングが実施できた。課題としては、夏のU-12全道選抜の後の選手のモチベーションを保つことがあげられる。プレミア大会が復活してくればそこはクリアとなると思うが、そうでなければほかの手段を考えなければならなかったと感じた。コロナも減少傾向にあることから検討する必要があると思う。
- 今後は、選択肢を持って判断して質の高いプレーができるよう働きかけていきたい。

○道東トレセンに4名輩出することができた。

FP・・・堀 翠杜(北見オニオン)、杉本 慶次(津別)、和田 尚大(ベアーネ) GK・・・山内 志希(北見オニオン)

普及U10遠紋エリア(半田)

○9月と10月に実施。

所属チーム内の選手不足により、多人数プレーの練習不足を解消する場となった。しかし、各種行事が多岐にわたり、なかなか指導者及び選手が集合できない現状がある。

普及U10斜網エリア(大嶋)

○8月に実施

コロナウイルス感染拡大防止の関係などにより、日程や会場の調整がつかず未実施が多くなってしまい、出来るだけ早い段階からの調整が必要であると感じた。感染拡大防止等から中止もありましたが、トレセン活動を楽しみにしている選手が多い事を感じた。最後に、トレセンを通じ試合会場での自チーム以外の選手との触れ合い、コミュニケーションを図れる楽しさを感じた。

普及U11/12北見エリア(多田)

○選手の現場(課題)

全体として止める蹴るなどの基礎技術についてはある程度身に付いているものの、求められる正確性の水準に向けては更なる技術向上の余地は大きい。しっかり観て判断する、関わり続けるなどの要素については意識して行えていない選手も多い。ただ、技術や個人戦術の習熟度合いに関わらず、選手からはプレーする楽しさや喜びが大いに感じた。コロナウイルス感染症の影響が色濃く残る中で、結果として2回の開催に止まった。また、当初強化の選手も対象にするなど実施要項が定まらない中でスタートとなった。次年度は対象選手やその課題を事前に整理し、綿密に計画を立てたうえで多くの回数を開催したい。少ない回数ながら参加選手からは、楽しかった、また参加したいといった声が聞かれた。サッカーを楽しみ真摯に向き合う選手たちにとっての、エリアトレセンという場の必要性を実感した。

普及U11/12遠紋エリア(半田)

○9月と10月に実施。

所属チーム内の選手不足により、多人数プレーの練習不足を解消する場となった。しかし、各種行事が多岐にわたり、なかなか指導者及び選手が集合できない現状がある。

強化U13(平岩)

1. 選手に関わって

○成果

【守備面】

ボールを奪いにいく守備~ファースト DF としてボールを奪いにいく習慣ができている選手が増えてきている。これはトレセンのトレーニングの成果というよりも各チームの指導がベースにあってというものと感じる。道東トレセンマッチにおいても前線の選手がボールを奪い、ゴールを決める場面があった。

【攻撃面】

ビルドアップ

トレーニング、マッチを通じてどこに立てばよいかということをサポートにビルドアップの改善に努めた。動きすぎてしまう幅・厚みが取れないなどの問題が徐々に解消されることでボールを保持できる場面が増えた。

○課題

【守備面】

ボール状況を考えた守備

セカンド DF のポジショニングの判断基準があいまいであると感じた。相手のボール状況が良い時にもマークする選手に近づいてしまい、背後を取られたり見失ったりする場面が多くあった。また、ボールウォッチャーになりやすい傾向もあるので、次年度のトレーニングの課題としていきたい。

【攻撃面】

ビルドアップ

成果と同時に課題であると感じた。体の向きやボールの置き場所などにもっとフォーカスしていきたい。技術面の問題というよりは、理解や意識の部分というところが大きい。その部分が不足していても自チームではやれてしまうという選手が多いので、トレセンを通じて刺激を与え、より個の成長を促していきたい。

- 選手たちは数少ない活動の中でも前向きにトレーニングに励んでくれた。この年代の選手たちはチームで協力して勝利しようという姿勢でプレーする選手が多いので、他地区とのマッチでも互角に渡り合うことができた。しかし、道東トレセンには夏季交流大会に1名、冬季交流大会には選出ゼロであった。チームのために頑張れるパーソナリティーをもった選手が多いので、個の部分でも大きく成長できる場にしていきたい。

強化U14(山岸)

【成果】

- 昨年度に比べるとトレーニングの回数を増やすことができた。しかし、コロナなどによる中止があったため、連続したトレーニングで積み上げるのに難しさを感じた。その中でも、攻守におけるの原理原則の積み上げに向けて活動することができた。また、全体の人数が少なかったため、各エリアから推薦してもらい、増やすことができた。
- 自チームで取り組んでいるシステム以外にも意欲的にトライした。また、そのシステムの優位性や劣位性を受け止めた上で、ピッチ上で起きることに対して話し合いをしながら改善しようとする良さも見られた。
- 点差に関係なく、戦う姿勢を維持しようとする意識がある。
- ビルドアップにおいて、ディフェンスシブサードでは相手の中間ポジションに立ち、広い方へボールを逃がす力を示してくれた。

課題

- ハーフウェーラインまでのビルドアップでやみくもに進んでしまい、ボールを失うことが多かった。ロングパスの精度の改善や攻撃方向に対して前向きで受けることができるポジショニングをとり、その選手を使うことで相手自陣に押し込んでいくことが求められる。
- 相手と味方の状況に合わせたプレッシャーのかけ方や身体を当てて奪える距離とタイミング、ステップワークでの改善が必要。引き続き、守備の原理原則の獲得に課題が残る。何を守るのか、何をやられたくないのか、自分の立つ位置にどんな意味があるのかなど、さらに理解を深めたい。

強化U15(寺田)

成果

【守備面】

- 個々における守備の強度が強化され、チームとしての守備の理解度と精度が上がったと感じた。自分のマークと、味方の選手との距離感や中間ポジションを取りながら複数の選択肢に備えた位置に立つことができる選手が増え、守備の安定につながっていた。

【攻撃面】

- 判断をともなったコントロールやプレッシャーが強くなったときのコントロールの質の向上が見られ、安定したビルドアップの回数が多くなっている。また、攻撃の優先順位を理解し、チームとして判断基準を共有しながらプレーを選択する場面も見られてきた。

課題

【守備】

- 前線からプレスに行く積極性があり、それに連動してセカンドディフェンダーがボールを奪うシーンもあったが、ボール状況に合わせたプレスではなく無謀に寄せたため、あいたスペースを使われて簡単にボールを運ばれることがあった。ボール状況に合わせて、味方同士がコミュニケーションをとり、連動した守備がさらに求められる。

【攻撃】

- 前に急ぎすぎる傾向があり、ボールを失う場面があった。相手の守備の状況を把握しながら、ゴールに迫れるような判断基準を持ってプレーできる選手の育成が必要。
- ビルドアップについては、安全にボールを運ぶために、味方同士がどういうふう動きながら、前に運んでいくのかお互いにコミュニケーションをはかりながら安全にボールを運ぶことは、まだできていない。GKを含めて技術になるので、GKを含めてもっとこの部分については、さらに力を入れていく必要がある。

全体を通して

トレセンに参加した選手は、ひたむきに取り組む選手が多く、自分の技術向上のため大変意欲的に3年間頑張っていた。高校進学後もその気持ちを忘れず、地区を引っ張っていく選手となって活躍してほしい。

北海道トレセンU15 秋季交流大会 10月30日(土)～31日(日)

・選出選手(10名)

荒 依吹、石垣祐月、福澤流偉(遠軽中)、工藤 心(美幌中)、桑原 輝(滝上中)佐藤 悠仁(上湧別中)、松井 元(北見北中)、中村 恭一(北見東陵中)、佐々木 翼(滝上中) 見陣 孝征(遠軽南中) GK

普及U13/14北見エリア(工藤)

5月・7月・8月・9月に実施

成果

- ① 攻撃・守備の「基本理解」、「観る」「判断する」の指導に努め、質の向上が見られた。
- ② パスコントロールのトレーニングに時間をかけることが多かったが、「観て」「判断」するためには必要不可欠である。
- ③ 地区トレセンに3名選出した。

普及U13/14遠紋エリア(山本貴之)

5月・7月・8月・2月に実施

【成果】

- ボールの置き所や目線等、選択肢のあるプレーをしようと試みる選手が増えた。
- 2ndDFのポジショニングの意識が向上した。

【課題】

- 1stDFの質(アプローチの距離とスピード)
- ボールから遠い選手の関わりの意識

まとめ

- 意欲的にトレーニングに向かう姿勢が見られ、トレーニングでやったことをゲームで発揮しようとする選手が多かった。
- 3年ぶりにエリア交流戦を実施した。エリアの選手にとっても良い刺激になり、モチベーション向上の機会となった。

普及U13/14斜網エリア(吉川)

成果

- パスコントロールの面では、動きながらのコントロールについては、少しずつ向上が見られた。
- 守備でマンツーマンの守備については概ね原則を守って粘り強くプレーできた。

課題

- TR内のプレッシャーのある環境下では、ファーストタッチのエラーが増え、プレーの選択肢を減らしてしまう選手が多かった。日常からできるだけプレッシャーのある状態でのトライ&エラーの積み重ねを大切に、複数の選択肢を持ち余裕をもったプレーができるようになってほしい。
- 守備において複数人を同一視できるポジショニングについては改善が必要。積極的な守備意識が高い選手もいるので、リスク管理とともに守備の原則を今後も深めていきたい。

強化U16(田宮)

秋季交流大会の成果

- テクニックとパス技術を生かしてボールをつなぐことをはじめ、強度を落とさずにアグレッシブにプレイすること、ハイスピードのゲーム展開においても簡単にボールを奪われないようにゲームを進めること、そして都会のチームや他管内であることを気にせず強気で得点を奪いに行く姿勢が見られた
- 選手間でビルドアップについての考え方や攻撃時及び守備時の意識の共有を図ることができた。失敗を恐れずビルドアップに挑戦し、攻撃につなげることができていて、決定的な機会を作り出すことができた。また精神面、ポジショニングの重要性、常に見ておくことの大切さ等について理解を深めさせることができた。さらにはこれらについて自分たちでの話し合いの場を設けさせ、個人の意見をすり合わせていくことができた。その成果として、大会期間中にチームとして力を発揮することができた。

課題

- 自分たちの力が通用するにもかかわらず小さくまとまってしまうがちなところがあった。トレセン経験がない選手やそこまでの経験値を積みきれなかった選手が管内でプレーすることによってどこまで成長できるかが、オホーツク2種全体の課題である。
- 2種全体で協力しての強化あるいは普及をさせていかなければならない。

女子U12(山口)

今年度は1年を通して活動を行ったが、夏場はリーグ戦が重なることが多く全員が集まれる機会がなかった。土曜日にリーグ戦の選手、日曜日にリーグ戦の選手がいたため)チームで主力として試合に出ている選手もあり、例年よりも蹴る・止めるなど基本技術が高い選手が多く、ヘディングも出来ていた。モチベーションも高く切磋琢磨していたが、毎回、集まる選手が変わるため積み重ねができなかった。3～4年生のスクールを同時開催しており、積極的に5～6年生のトレーニングに混ぜて次年度以降への積み上げを行った。

女子U15(島倉)

【成果】

- 年々女子選手のレベルが少しずつ上がっている。道東トレセンに参加した選手は、十勝や釧路とそんなに大きな差はないと感じた。

【課題】

- 雰囲気は良いが本気度に欠ける部分がある。
- パスアンドコントロールの質の向上。

女子U18(鞠古)

個の技術向上を目指すだけでなく、中学卒業後も管内の高校に通って、女子サッカー部はないけれどもサッカーを少しでも続けたい選手に、この活動を知ってもらいサッカーを続ける機会を与えたい。

GK(高瀬)

今年度も練習会としてはU12年代でしか行うことができなかった。練習会の時期的に4種のフットサル大会が近いこと、斎藤氏がフットサルGKC級ライセンスを取得したことから練習会のトレーニングの内容をサッカーのGKテクニックを踏まえつつ、フットサルにも活用できるように行った。また、トレーニング内容の伝達の為にスタッフ研修会も開催し、スタッフで共通理解をもってトレーニングを行うこともできた。子ども達にとっても、時期的に普段しようにしているフットサルボールでのトレーニングやフットサルゴールを守るためのテクニックの紹介もあり、モチベーションが高い中でトレーニング

を行うことができた。来年度も練習会の時期などに合わせて、子ども達にとってより良い機会になるよう、トレーニングの内容を判断していきたい。課題としては、サッカーとフットサルの共通のテクニックもあるが、「サッカーでは…」「フットサルでは…」という区別も必要になる。

2022年度 オホーツク地区サッカー協会 審判委員会 事業報告

1 強化部会

○今年度も引き続き、コロナ対策をして研修会を実施した。

○サッカー2級上申者はいなかったが、U-18でサッカー3級審判員7名合格した

永田朔一（北斗）、高橋秀介、藤野陽矢、荒木颯太、松岡龍紀、井上響葵（以上紋別）、阿部拓歩（佐呂間）

2 育成部会

○今年度も、各カテゴリー別に上申・新規取得の講習会を実施した。

○3級上申17名（一般 10名、U-18 7名）4級新規91名（一般 58名、U-18 32名、U-15 1名）

3 指導者部会

○今年度も、3・4級審判員にJFAラーニングで更新手続きをしてもらいました。

○2級審判員は、集合型で更新講習会を実施した。

4 フットサル部会

○コロナ対策をしてF2の強化研修を実施した。2級上申者は3名で実技は合格している。

3月の学科テストに合格すれば2級審判員になる。 野坂信之、山本悠司、高瀬義史

○サッカーと同様で3・4級審判員にJFAラーニングで更新手続きをしてもらいました。

○2級審判員はサッカーと同様に集合型で実施した。

5 女子部会

○今年は、高体連全道、ロバパンカップU-12、北の大地サッカーフェス、高校選手権全道、全道女子フットサルに参加させてもらい充実した研修ができた。

○オホーツク地区で初のサッカー・フットサルユース2級審判員が誕生した。秋山心音（北見柏陽）

○秋山は3/17～静岡で開催される全日本O-30女子サッカー大会の審判育成研修会に北海道代表として参加する。今後の彼女の活躍に期待したい

6 研究開発部会

（1）プレゼン資料の作成

○受講者・講師両面から考えて、プレゼン能力（伝達能力）の向上を図ることが出来る良い機会だと思うので、今後も継続して実施していきたい。

7 総務部

（1）Kick Off業務

○講習会担当者が早めに準備に動いてくれたのでスムーズに業務を進めることが出来た。

（2）地区協会情報委員会との連携

○昨年同様、審判委員会関係の情報で地区協会ホームページへ掲載するものは、迅速に対応出来た。

○ユース審判員の活動報告をきっかけに女子・ユース審判の認知度が上がったと感じている

（3）道協会との連携

○道協会とは、質問や要望への対応にも迅速に対応して頂き、特に問題の発生も無く進めることが出来た。

1. サッカーファミリー拡大

① 幼稚園巡回事業

北見マリア幼稚園・北見藤幼稚園・北見聖母幼稚園・北見さくら幼稚園・訓子府幼稚園の5施設に加え、新規に 北見くるみ幼稚園・高栄幼稚園2施設で巡回指導を実施。

また、新年度から北光幼稚園・大谷幼稚園・留辺蘂マリア幼稚園の3施設で実施予定

【新年度から10施設に拡大】

巡回回数： 50回

② トヨタ自動車巡回事業

株式会社北見トヨペット社員との巡回事業再開。

社員のキッズリーダー講習会の実施

③ JFA「ゴール・ボール贈呈事業」の実施 【新規事業】

事業内容：JFAのJYD（JFAと企業協賛）の一環で、幼稚園指導環境の充実と新規巡回施設の掘り起こしを目的に実施され、当地区から10施設を要求。要望提出の各FAに対し2か年で10施設を最大枠とされていたが、他FAの要望が少なかったことから、本年度で全10施設に対し贈呈実施。

既存巡回施設のほか5施設が未実施施設で各園長に賛同いただき、新規巡回実施に至る。

④ サッカー教室の実施

北見市教育委員会のキッズスポーツ教室・ジュニアアスリート教室への講師派遣協力の実施

2. JFA フェスティバル

①フットボールデーフェス：他カテゴリー事業との調整がつかず未実施

3. 指導者育成事業

キッズリーダー講習会・テクニカル講習会は、コロナ感染予防のため開催自粛。

4. 今後の課題

全事業をオホーツクエリア全域で実施するためには、幼稚園に認知していただく環境づくりが必要。その為の指導者育成や各地域協会へのスタッフ配置による連携体制の構築が必要。

令和4年度 フットサル委員会 事業報告

1種関連事業

- | | | |
|--------|-------------------------|------------------------|
| 1. 事業名 | 令和4年度 オホーツク社会人フットサルリーグ | 優勝 FC網走 |
| 開催日 | 2022年11月13日～2023年3月12日 | |
| 会場 | 北見市立体育センター 訓子府町スポーツセンター | |
| 参加チーム | 6チーム | |
| 参加者 | 117名 | |
| | | |
| 2. 事業名 | 第12回全道地区選抜大会 | オホーツク選抜 5位 |
| 開催期間 | 2022年10月15日(土)～16日(日) | |
| 会場 | 江別市野幌総合運動公園総合体育館 | |
| 参加チーム | 7チーム | |
| 参加者 | 19名 | |
| | | |
| 3. 事業名 | オータムフットサル大会 2022 | 優勝 Feliz Futsal Club40 |
| 開催期間 | 2022年11月20日(日) | |
| 会場 | 北海道立北見体育センター | |
| 参加チーム | 6チーム | |
| 参加者 | 65名 | |
| | | |
| 4. 事業名 | 全日本フットサル選手権 オホーツク地区予選 | 優勝 FC網走 |
| 開催日 | 2022年11月27日(日) | |
| 会場 | 訓子府町スポーツセンター | |
| 参加チーム | 4チーム | |
| 参加者 | 71名 | |
| | | |
| | 全日本フットサル選手権 北海道大会 1ST | 棄権 |
| 開催日 | 2022年12月24日(土)～25日(日) | |
| 会場 | 札幌市・江別市 | |
| 参加チーム | 13チーム | |
| | | |
| | 全日本フットサル選手権 北海道大会 2ND | |
| 開催日 | 2023年1月7日(土)～8日(日) | |
| 会場 | 釧路市 | |
| 参加チーム | 16チーム | |

5. 事業名	クリスマスカップ 2022	中止
開催日	2022年12月11日(日)	
会場	北海道立北見体育センター	

6. 事業名	全道フットサル選手権 一般の部 地区予選	優勝 FC網走
開催日	2023年1月22日(日)	
会場	訓子府町スポーツセンター	
参加チーム	5チーム	
参加者	83名	

	全道フットサル選手権 一般の部	FC網走 Gブロック1位
開催日	2023年2月25日(土)～26日(日)	トーナメント1回戦敗退
会場	札幌市・江別市	
参加チーム	24チーム	
参加者		

7. 事業名	フットサル交流大会	Feliz Futsal Club
開催日	2023年2月5日(日)	0勝3敗
会場	芽室町総合体育館	
参加チーム	4チーム(オホーツク、十勝、旭川、室蘭)	
参加者	17名	

8. 事業名	ウインターフットサル大会 2023	中止
開催日	2023年2月26日(日)	
会場	北海道立北見体育センター	

地区協会関連事業

1. 事業名	フットサルフェスティバル 北海道 in オホーツク
開催日	2023年 2月 19日(日)
会場	北海道立北見体育センター
参加チーム	18チーム
参加者	250名

2. 事業名	全道自治体職員フットサル大会 北ブロック	中止
開催日	2022年 11月 中旬	
会場	紋別市体育館	

1. 主な取り組み

①ファミリー拡大に向けて

引継ぎ、各カテゴリーで所属チームからフェイスブックやインスタグラム、ホームページの存在を情報提供していただくとファミリー拡大につながると考えられます。ご協力をお願い致します。

②PC (iPad) の購入

iPad(10 世代)のセルラーモデルを購入しました。通信費がかさみますが、Wi-Fi 環境がない場所でも使用可能です。また、テザリング機能も付いているので他の人のスマートフォンやタブレットなども同時に無制限に使うことができます。オホーツク地区は遠方で保護者や関係者が見ることができない人たちもいることを考えると、各種大会で活用していただければと思います。

③大会のライブ配信

無観客での大会が多かったことから、フェイスブックのライブ配信機能を活用して、来場できない方々にも試合の様子を見ていただくことができました。同時に、ホームページとリンクして結果の速報を掲載できるとファミリー拡大に繋がると考えられます。

2. 今後の課題

①iPad の活用を増やすこと。(各カテゴリー、各大会のライブ配信など)

②フェイスブックやインスタグラム、ホームページによる情報提供。(情報委員への使い方説明)

③情報委員によるファミリー拡大を目的とした会議の実施。

3. ホームページの月別延べ訪問数 (昨年度との比較)

月	2020 年度	2021 年度	2022 年度	比較	月	2020 年度	2021 年度	2022 年度	比較
4	13,045	13,359	11,942	-1,417	10	18,566	15,273	16,034	+761
5	12,429	17,825	18,716	+864	11	16,409	14,198	14,265	+67
6	12,576	13,254	17,921	+4,667	12	11,989	12,589	13,595	+1,006
7	15,537	18,192	19,596	+1,404	1	11,469	12,366	13,248	+882
8	19,863	18,970	17,290	-1,680	2	10,270	9,596	12,255	+2,659
9	20,625	15,295	17,081	+1,786	3	11,544	9,660		

※前年比、年間 10,999 件の増加 (3月30日現在)

4. カテゴリーごとの延べ訪問者数 (Total Entry Pages)

	TOP	1 種	2 種	3 種	4 種	女子	トレセン	審判	普及
3 月	5,092	198	128	192	573	86	123		
4 月	6,349	271	252	279	1,151		155	120	93
5 月	9,431	479	1,832	747	1,359	187	407	160	
6 月	9,262	531	630	1,241	1,708	175	306	122	
7 月	10,109	516	415	1,342	2,137		443		165
8 月	8,610	370	754	801	1,654		608	188	
9 月	8,789	574	912	796	1,338		502	183	
10 月	8,634	650	483	626	1,009		587		168
11 月	7,940	405	262	680	550	169	359		
12 月	7,176	395	298	443	857	413	359		
1 月	7,241	385	190	432	763	186	355		
2 月	6,863	280		275	805	240	224	151	

2022年度 オホーツク地区シニアサッカー委員会事業報告

月 日	事業名		開催地	参加 人数
R4年5月22日	第15回オホーツク地区シニアサッカーフェスティバル		北見モイワ	80
	参加 チーム	オホーツクシニアSC40、北見LEGEND、FC.IDEAL CUARENTA FCイーグルス.GF、遊蹴会、Revival S.C		
R4年6月5日	第 8 回オホーツク地区シニアサッカーリーグ		北見市 遠軽町	
}	参加 チーム	オホーツクシニアSC40、北見LEGEND、FC.IDEAL CUARENTA FCイーグルス.GF、遊蹴会、Revival S.C		
	優勝は北見LEGEND			
R4年9月25日				
R4年6月26日	第1回オホーツク地区シニアO-50		北見モイワ	30
	参加 チーム	主たる 2 チーム：オホーツクシニアSC50、FC.IDEAL CUARENTA 遊蹴会、Revival S.C、北見LEGEND（3 チームから 2 ～ 4 名程度参加）		
R4年10月9日	第2回オホーツク地区シニアO-50		端野多目的 グラウンド	35
	参加 チーム	主たる 2 チーム：オホーツクシニアSC50、FC.IDEAL CUARENTA 遊蹴会、Revival S.C、北見LEGEND（3 チームから 2 ～ 4 名程度参加） 尚、O-50の参加者が少ないため、O-48迄枠を広げて開催する。		
R4年10月16日	第6回オホーツク地区シニアサッカーオータムフェスティバル		北見モイワ	40
	参加 チーム	北見LEGEND、FC.IDEAL CUARENTA オホーツクシニアSC・遊蹴会・Revival S.C・FCイーグルス		
R4年11月20日	第14回オホーツク地区シニアフットサルフェスティバル		美幌サニー センター	40
	参加 チーム	北見LEGEND、FC.IDEAL CUARENTA、遊蹴会 オホーツクシニアSC・FCイーグルス		
R5年1月22日	第2回オホーツク地区シニアウインターフットサルフェスティバル 開催場所の開催要件を鑑み中止とした		中止	
R5年2月19日	フットサルフェスティバル2022 北海道inオホーツクの参加（3 チーム）		道立体育 センター	30

北海道シニアサッカー連盟が主催する各種オープン大会への参加

月 日	事業名	開催地
R4年8月27～28日	第22回 北海道シニアサッカーオープン大会 4 0 部門に、北見LEGEND、FC.IDEAL CUARENTAが参加	栗山町
R5年3月4～5日	第11回 全道シニアフットサルオープン大会 4 0 部門に、Feliz Futsal Clubがオホーツク地区として参加（準優勝）	滝川市

2022年度北見サッカー協会 事業報告

○ 第1種

- 7月17日 第1回北見サッカー協会ソサイチ交流大会開催
参加チーム数：15チーム 開催場所：モイワスポーツワールド
3月 第12回北見ふっとさる祭り 北見市立体育館 → 中止

○ 第2種

- 7月～10月 市内高校リーグ（2022OKFA 地区リーグを兼ねて実施）
優勝：北見柏陽高校

○ 第3種・技術

- 2月～3月 北見エリアウィンターフェスティバル U-14 → 中止

○ 第4種

- 9月23日 鴨下杯（U-10）
優勝：北見西サッカースポーツ少年団
9月25日 明治安田生命杯（U-9）
優勝：エスペランサ FC
※大会と合わせてサッカークリニックを実施する予定だったが、講師が
新型コロナウイルスに感染したため中止
10月16日 山本杯（U-12）
優勝：エスペランサ FC
※当初は9月23日に実施する予定だったが、降雨の影響により延期
2月12日 塩別つるつる温泉杯（U-9）
優勝：北見西サッカースポーツ少年団

○ 女子

- 7月10日 JFA レディースサッカーフェスティバルの運営協力
11月23日 第6回 OKFA フットサルフェスティバルの運営協力（地区事業）
※道立で開催し、十勝や釧路地区からも参加

○ 審判

- 地区協会へ審判協力（10月8日、9日 3種から依頼があり、小林1種委員長が対応）

○ 協会事業

- 9月または10月 モイワスポーツワールド清掃活動 → コロナにより未実施
11月 ビールパーティーの開催 → 中止

2022年度 網走市サッカー協会 事業報告

1. 4月 網走市サッカー協会 総会は書面決議を予定したが開催せず。
2. 6月14日～6月17日 高校総体サッカー競技北海道予選会男子・女子
網走スポーツ・トレーニングフィールドで開催
協会備品の貸与等
3. 7月16日（土） 網走市サッカー協会 臨時総会をエコーセンターで開催
令和3年度事業報告及び会計決算を承認
令和4年度事業計画及び会計予算を可決
役員改選を承認した。
4. WEリーグ3チームの網走キャンプへの協力。
7月19日～7月24日 大宮アルディージャVENTUS（初）
7月22日（金） 網走市内の観光イベント（流氷踊り）に参加
7月23日（土） VS北見北斗高等学校とのTM
OKFA審判委員会より加藤委員長、ユース審判2名の派遣
7月24日（日） 管内女子選手対象のサッカースクール 参加人数21名
スクールの様子はNHKローカルで放送された。

7月23日～8月1日 ジェフユナイテッド市原千葉レディース（初）
7月27日（水） 管内女子選手対象のサッカースクール 参加人数28名

7月29日～8月7日 マイナビ仙台レディース（2回目）を予定していたが、急遽中止。
5. 9月11日（日） 第35回オホーツクジュニアカップサッカーin2022を後援。
会場は網走スポーツ・トレーニングフィールド。
小学1年生から小学6年生245名、スタッフ55名の計300名が参加。
6. 2月 第22回 網走市サッカー協会 ビールパーティーは中止とする。

2022 年度 紋別サッカー協会 事業報告（案）

1 主催事業

- ・ 4月 紋別サッカー協会役員会・総会(書面開催)
- ・ 11月 会長杯フットサルジュニアサッカー大会 対象 幼児～小学生～中止

2 主管・後援事業

- ・ 2月 市民フットサル大会（主管） 対象 幼児～一般（中学生以上）～実施

3 助成事業

協会加盟チーム（1種～4種）への活動助成金交付

4 (株)北海道コンサドーレとの連携強化

「紋別市と(株)コンサドーレとの相互交流に関する協定」に基づき、スポーツを通じた相互交流関係の推進のため、紋別サッカー協会も連携を図る。

○主な取り組み

- ・ 指導者派遣に伴う市内各チームへの指導
- ・ 未就学児、未経験者へのサッカー教室開催（巡回学校訪問含む）、体づくり教室等のサポート
- ・ 市、協会、コンサドーレ紋別後援会と一体となったサポート体制の構築

5 その他

- ・ 指導者会議の開催（1～4種合同）
- ・ 室内ロングパイル人工芝体育館（紋別市落石アリーナ）オープンに伴う、利用調整会議の開催
- ・ 紋別市中学部活動活動検討協議会の構成員会議に参加
- ・ 運動公園芝生広場の利活用・改修に伴う打合せの実施

2022年度遠軽サッカー協会 事業報告

- 6月11日(土) 第7回 遠軽信用金庫杯 U-10 サッカー大会
対象 4年生以下
場所 えんがる球技場
参加チーム 11チーム 参加者 141人
- 7月23日(土) 第17回 がんばろうカップサッカー大会
対象 5年生以下
場所 えんがる球技場
参加チーム 13チーム 参加者 172人
- 9月17日(土) 第31回 遠軽サッカー協会親睦交流会
場所 遠軽町芸術文化交流プラザ(メトロプラザ)
※ 新型コロナのため中止
- 9月23日(金) 第15回 遠軽キッズサッカーフェスティバル
対象 幼稚園年長児、1・2年生、幼稚園年長児及び1・2年生の母親
場所 えんがる球技場
※ 新型コロナのため中止(規模を縮小して3月4日(土)に開催予定)
- 10月10日(月) 第29回 遠軽サッカー協会会長杯中学校サッカー大会
場所 えんがる球技場
※ 新型コロナのため中止
- 3月4日(土) 第15回(令和4年度) 遠軽キッズサッカーフェスティバル(予定)
対象 幼稚園年長児
場所 遠軽町総合体育館
参加チーム 4チーム 参加者 33人
- 3月5日(日) 第40回 遠軽室内サッカー大会
対象 中学生以上
場所 遠軽町総合体育館
※ 新型コロナのため中止
- ※ 4月～3月 少年団指導援助事業
対象 小学校3年生～6年生
- ※ 4月～3月 キッズ指導事業
対象 小学校1年生・2年生

2022年度 斜里サッカー協会 事業報告

[illegible]

2022年度 斜里サッカー協会 事業報告

OKFA 16→25プラン達成に向けて

重点課題	計 画	実 行	検 証	修 正	担 当
①リーグ文化の醸成	・1種登録チームの復活（クラブ化検討） ・サッカー、フットサルフェスを開催	・町内の登録者との連携、情報交換、クラブ化未検討 ・親子サッカーで縮小開催	・施設の充実と地域のサポート必要 ・感染症拡大防止のため対象限定開催	・計画継続 ・計画継続	千 葉 成 田
②女子選手倍増計画	・なでしこひろばへの参加 ・女子フェスティバルへの参加 ・親子サッカーの定期開催	・なでしこひろばへの参加 ・JFAGG北海道、小清水フェス参加 ・親子サッカーの開催（1回）	・女子登録者数8名→5名 ・5名参加 ・保護者への普及活動	・計画継続 ・計画継続 ・計画継続	横 山
③施設の充実	・斜里町に施設整備（オールシーズン利用可）の要望をあげる ・陸上競技場の施設管理を斜里サッカー協会で行う	・当初計画の要望 ・計画通り実行	・要望活動継続 ・現状維持	・計画継続 ・計画継続	成 田 門 間
④みんなつながっている	・各カテゴリーに情報担当者を配置し、SNS等を利用して積極的に情報発信を行う	・計画通り実行	2013年4月1日より随時更新 フォロワー数526人→608人	・計画継続	各担当

OKFA 16→25プラン達成に向けたスケジュール

斜里協会 総会	P	各プラン承認	R 3 5月中～下旬
プラン承認後	D	実 行	R 3 シーズン
斜里協会 役員会	C	プラン検証	R 4 3月初旬

令和4年度 美幌町サッカー協会 事業報告

月 日	事 業 内 容	備 考
令和4年		
4月 5日	美幌町サッカー協会総会	
6月～	小学生サッカー教室 (あさひ広場公園多目的運動広場)	小学生(低学年向け)対象 6/11 6/25 7/9 7/16 8/13 合計5回 延べ61名参加
7月～	キッズサッカー教室 (あさひ広場公園多目的運動広場)	幼稚園児、小学生低学年対象 7/5 7/13 8/16 8/24 9/6 9/14 合計6回 延べ52名参加
11月～	キッズフットサル教室 (美幌町サニーセンター)	幼稚園児、小学生低学年対象 11/9 11/30 12/13 1/24 2/9 2/17 合計6回 延べ51名参加
7月 18日	第37回北網地区社明杯少年サッカー大会 兼 第11回ライオンズクラブカップサッカー大会	あさひ広場公園多目的運動広場 美幌中学校グラウンドにて開催 (本年度も規模を縮小して開催)
11月 13日	美幌町冬季体育祭会長杯争奪サッカー大会 (1st)	美幌町サニーセンター 高校、社会人対象 ※コロナウイルス感染拡大の為に中止
令和5年		
2月 5日	美幌町冬季体育祭会長杯争奪サッカー大会 (2nd)	美幌町サニーセンター ※コロナウイルス感染拡大の為に中止

2022 年 度 会 計 決 算

オホーツク地区サッカー協会

収 入

項 目	予 算	決 算	対 比	内 訳
繰越金	1,076,939	1,076,939	0	
登録料	1,800,000	1,886,400	86,400	地区協会 登録料等
道協会交付金	423,400	423,400	0	R3 (公財)北海道サッカー協会交付金
道協会特別補助金	990,000	990,000	0	地区主催大会支援59万 地区トレセン支援20万 事務局支援金20万
その他	200,000	151,000	△ 49,000	広告料(さかきばら泌尿器科100,000) 広告料(第一工業50,000) マッチウェルフェアオフィサー講習料1,000
利息	661	23	△ 638	利息
合計	4,491,000	4,527,762	36,762	

支 出

項 目	予 算	決 算	対 比	内 訳
事務局費	110,000	94,841	△ 15,159	事務用品 21 印刷発注 94,820 道協会役員会費 0 その他 0
通信費	140,000	18,591	△ 121,409	送料 3,741 振込手数料 14,850 インターネット回線 0 携帯電話・ファックス 0
事業費	550,000	500,000	△ 50,000	道東リーグ 50,000 社会人連盟補助 180,000 2種FAリーグ 60,000 全道大会補助(1、2、4) 150,000 地域協会事業補助 60,000
事業委員会費	1,790,000	1,790,000	0	第1種 10,000 第2種 60,000 第3種 60,000 第4種 60,000 審判 10,000 技術 1,370,000 フットサル 30,000 女子 50,000 シニア 30,000 キッズ 10,000 情報 100,000
OKFA16→25 プラン事業	790,000	790,000	0	技術(200,000) 審判(19,360) 1種(107,671) 女子(95,391) 事務局(288,928)
旅費	70,000	58,860	△ 11,140	常任理事会 42,020 規律・フェアプレー委員会 0 役員会議 0 その他 16,840
会議費	40,000	28,060	△ 11,940	常任理事会 22,818 規律・フェアプレー委員会 0 総会 0 その他・役員会議 5,242
負担金	145,000	0	△ 145,000	道東圏サッカー協会負担金 0
積立金	50,000	50,000	0	PC購入積立金 50,000
事務局手当	140,000	140,000	0	事務局長 60,000 事務局次長 30,000 会計 50,000
記念費	10,000	0	△ 10,000	表彰者・功労者 0
慶弔費	10,000	12,492	2,492	香典・弔電 12,492
予備費	646,000	248,752	△ 397,248	
合計	4,491,000	3,731,596	△ 759,404	

残 高 796,166

オホーツク地区サッカー協会 積立金

積立年月日	預入額	残高	備 考
平成26年2月28日	50,000	0	平成26年3月1日 PC購入(85,000円)
平成27年3月4日	50,000	50,000	
平成27年12月24日	50,000	100,000	利息10円
平成29年3月5日	50,000	150,000	
平成30年1月4日	50,000	200,000	
平成31年2月21日	50,000	250,000	
令和2年2月23日	50,000	300,000	利息2円
令和3年2月21日	50,000	350,000	利息2円
令和4年3月7日	50,000	400,000	利息2円
令和5年3月12日	50,000	334,610	令和4年12月18日 PC購入(115,390円) 利息2円

奈良竜樹 プロジェクト基金

積立年月日	預入額	残高	備 考
平成27年12月5日	100,000	100,000	
平成28年12月12日	100,000	200,000	
平成29年12月25日	100,000	300,000	利息1円
平成31年2月28日	100,000	400,000	利息2円
令和1年8月21日	10,000	410,000	小清水サッカー少年団
令和2年2月23日	100,000	510,000	利息3円

2022年度オホーツク地区サッカー協会

会計監査報告

オホーツク地区サッカー協会規約第三章第12条
に基づき協会会計について、詳細にわたり監査の結果、
適正に執行されていることを報告いたします。

令和5年4月1日

オホーツク地区サッカー協会

監査委員 村井 正英



監査委員 近藤 淳一

